

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 景翠会	代表者	富田 春郎	法人・事業所の特徴	金沢動物園近くの閑静な住宅街に位置しており、安全な環境のもと、四季を感じて頂ける散歩外出や、月に1度のイベントを開催しています。長きに渡りこの地域で育んできた、金沢病院グループの医療・介護の経験を活かし「地域で暮らす方々が、その人らしく、ご自宅での生活が続けられるよう」柔軟なサービスで対応させていただきます。
事業所名	けいすい小規模多機能さとやま	管理者	吉田 広子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	3人	2人	2人	人	15人	2人	24人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			・全職員が利用者の情報や介護プランを理解していると思っていたが、職種によってムラがある ・評価内容を職種に合せた内容にするべき	・ミーティング利用者状況を説明していたが、介護プランとの結びつけ方が理解できてなかった。今後はケアプランからの関わり方を伝えていく ・担当利用者のケアプラン、指示表の確認しミーティングで行い統一を測る
B. 事業所のしつらえ・環境			・利用者は清潔で安全な空間で楽しく過ごされている	・利用者が季節感を感じられる装飾の工夫 ・地域の方に施設を知って頂くために、サロン(施設開放日)定着させる ・施設の外まわりや車の清掃にも気を配る
C. 事業所と地域のかかわり			・職種によって地域と関わる機会が限られてしまい、自己評価の回答が消極的になっているのではないかと	・こども110番の家に登録 ・地域の行事等の参加は施設長のみならず、参加できる職員には積極的に参加してもらえるように声をかける ・サロンのポスターを地域の掲示板や店舗に掲示したり、回覧板に載せる
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			・外食や散歩、イベント等、利用者が外出できる機会を可能な限り作っている ・運営推進会議の参加者の立場では回答に窮する質問内容である	・地域の行事に参加できるよう、地域の回覧板を注意深く確認。職員にも声をかけ、情報収集する ・イベント以外にも散歩やドライブなど、外出の機会をつくる
E. 運営推進会議を活かした取組み			・イベントや事故状況、定員数変更等の法制度も説明している ・参加者が限られているため、施設長以外の職員の意見を聞く場がない	・運営推進会議での意見は、その都度早急に改善できるように、ミーティング等で職員に伝える ・施設長以外の職員も交代で参加する
F. 事業所の防災・災害対策			・近隣住民として避難訓練に参加し、初期消火体験やAEDの講習を受けた	・年2回(春：夜間想定型、秋：消火訓練)を継続する ・災害時用の備蓄食料や防災用品の点検を定期的に行う